

にゅうぜん「まち・ひと・しごと」づくり戦略検証委員会〔第5回委員会〕

日時：令和4年8月29日（月）午前10時から

場所：うるおい館 イベントホール

【委員からの主な意見】

| 委員名 | 内 容 |
|-----------------------------|--|
| <p>大沼委員 〔みな穂農業協同組合〕</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、コメの消費量は減少、肥料代は高騰というような状況であり、新規就農への意欲低下にも影響を及ぼすのではないかと懸念している。 ・ JA みな穂管内の農業従事者は、ここ10年で1,000人減少している。 ・ 黒部市に道の駅が完成したことで、あいさい広場の売上減少を心配していたが、KOKOくろべからあいさい広場に人が流れ込みかえて売上が増加している。 ・ 商品の確保が課題であり、協力していただく生産者を何とか増やしていきたい。 |
| <p>飯田委員 〔入善漁業協同組合〕</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の定置網事業においては、人材マッチングフェアなどにも参加し従業員の確保に努めている。 ・ 県外からの移住者や外国人実習生が大半を占めており、その中には、入善町で結婚し、出産した人もいる。 ・ 今回、町の移住者向けツアーに漁業体験を取り入れていただいたのは大変ありがたいと思っている。 ・ 今後は、移住を視野に入れ漁業や農業の体験のために入善町に訪れた人が宿泊し、地元の人と交流ができるような環境づくりも必要と考える。 |
| <p>本多委員 〔入善町商工会〕</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナの対策を行いながら、ふるさと七夕まつりなどのイベントも工夫して開催している。今後予定しているイベントも何とか開催していきたい。 ・ 日本では学校を卒業したらどこかの会社に就職するというスタイルがまだまだ一般的であり、起業という選択をする人は少ない。起業や創業に対する教育が必要である。 ・ 現在は、既存事業者の他業種への展開や、事業の再構築に向けた動きが見られる。 ・ インターネットの普及が進む中、情報の発信だけでなく、その情報がしっかり届いているかなど、SEO対策にも取り組んでいきたい。 |

| 委員名 | 内 容 |
|------------------------------|---|
| <p>上野委員 〔入善中学校〕</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・資料にもあったとおり、不登校生徒・児童の増加は大きな問題と認識している。人間関係や勉強など要因は様々あるが、教職員がしっかりと関わり、学校への復帰につながっているケースもある。 ・子どもが将来や夢について考える機会として、体験することが重要である。去年は日数を短縮したものの、何とか14歳の挑戦を実施することができた。今年はもう少し日数を増やして実施する予定にしている。 ・入善町に住む大人が、明るく、いきいきしている姿を見せることで、入善で家庭を持ち、子どもを産み育てていくということにつながればと考える。 |
| <p>谷川委員 〔北陸銀行〕</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・町内の預金は、法人・個人ともに順調に推移している。借入は、法人では厳しいものの、個人では住宅ローンなど伸びている。 ・山形県遊佐町では、少年町長や少年議会を実施している。これは、子どもたちが考えた施策を実現させるという取り組みであり、自分達が住む町のことを真剣に考えることで、地元への愛着につながっている。入善町でも実施してみようか。 |
| <p>村田委員 〔入善女性団体連絡会〕</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・杉沢の沢スギの保全活動は、上青小学校以外の学校にも参加を促してはどうか。 ・海岸清掃などの環境美化活動は、ふるさとを守り、ふるさとを愛する心につながるものであり、このような事業には、積極的に子どもの参加を促すべきである。 ・進学や就職で県外に転出する人が多いわけであるが、子どもの頃の小さな体験が郷土愛につながり、将来のUターンの意識にもつながるのではないか。 |
| <p>浦田委員 〔入善町社会福祉協議会〕</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員初任者研修を実施しているが、今年は約10人の女性が受講している。高校生への受講を促すため、夏休み期間に実施しているが、なかなか受講につながらない。 ・何らかの形で、学校での教育の中に福祉に関する学習を取り入れていただき、将来の選択肢の一つに「福祉」が入るよう促していけないか。 ・フードドライブを実施し、約40世帯のひとり親家庭に食料を提供することができた。 |

| 委員名 | 内 容 |
|------------------------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭は、子どもの教育に係るお金のことや、自身の就業や将来のことなど、多くの不安を抱えている。何らかの支援ができないか。 |
| <p>中易委員 〔入善町区長連絡協議会〕</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策が問題となっており、特に老朽化した危険な物件や周辺環境に影響を及ぼすような物件が見受けられる。 ・自主防災組織は、自分たちの地域を守るという意識を向上させることができれば、もっと増えていくのではないか。 ・消防団の人材不足は深刻であり、地域や企業も協力しながら加入を促していくことが必要であり、町でも何か特典のようなことを考えていけないか。 |
| <p>小池委員 〔北日本新聞社〕</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・婚活イベントは対面式とオンライン式のハイブリッド型で実施してみればどうか。 →現在、オンラインで研修を行い、対面での交流につなげるというような取組みを進めている。 ・不登校生徒は何人くらいいるのか。 →人数はお話できないが、令和3年に割合が大きく上昇した。私も大変ショックを受けている。 ・インターネットを勉強などに使用する児童生徒は、こんなに少ないものなのか。勉強に活用するための、良質な学習サイトを紹介してはどうか。 →回答する子どもたちと質問に対する認識の差があるものと考えている。昨年度から一人一台のタブレットを使用した授業も進んでおり、今後数値が上昇するものと考えている。学習サイトについては、各学校のHPに掲載している。 ・来年、杉沢の沢スギが天然記念物に指定されて50周年を迎えるということだが、さらなる保全や魅力の創出に向けた具体的な内容の情報発信はあるか。 →これから具体的な計画を考えていきたい ・2つ目の深層水の取水施設を整備しているとのことであるが、新たに進出する企業のことにも報道されている。新たな需要を見越して整備しているのか。 →ウーケの増設計画に合わせて2本目の取水管を整備しており、現状の2倍以上の取水量となる。新たな進出企業とは、必要となる水量など今後協議を詰めていく予定である。 |

| 委員名 | 内 容 |
|-------------------------|--|
| 坂本委員 〔入善町P T A連絡協議会〕 | <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりのために多くの事業を実施し、その効果をこのように検証していることは良いことである。この会議の意見なども踏まえてより良い町にしてほしい。 |
| 中川委員 〔J Aみな穂青壮年部〕 | <ul style="list-style-type: none"> ・農泊などによる就農や就漁へのきっかけづくりが必要である。 ・中央公園は大変魅力的な施設になったと思う。今後も公園施設の充実をお願いしたい。 |
| 永井委員 〔入善町商工会青年部〕 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で、どうやったら開催できるかという視点で、新たなイベントの開催方法や内容をいろいろと考えている。 ・まつりんぴっくでは、他の団体などとも協力し、SNSを通して町をPRするための新商品の発表を計画している。 ・町の婚活パーティーはハードルが高いという声も聞かれ、ハロウィンパーティーにおいて「街コン」を実施できないかとも考えている。 |